

BCAOアワード2019審査結果

BCAOは、事業継続計画（BCP）に関する表彰を毎年実施しています。今回は14回目となります。

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)は、日本の事業継続(BC)の普及に資するため、その普及、実践等に貢献した個人・団体を表彰する「BCAO アワード 2019」の受賞者を、この度、下記のとおり決定いたしました。本アワードは2006年度に創設され、今回が14回目の表彰となります。

なお、毎年行っておりました授賞式及び受賞者の一部の方の内容発表につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着きましてから、あらためてお知らせいたします。

各賞受賞者一覧

【事業継続部門】

	各賞受賞者	タイトル
大賞	該当なし	
優秀実践賞	Infinimum	無知は罪、気付きを与えたBCP
優秀実践賞	芸陽バス株式会社	「路線バス事業を中心として地域に根差す企業」としてのBCP
優秀実践賞	株式会社明電舎	日本の社会インフラを支える企業としての事業継続体制確立に向けた取り組み
優秀実践賞	森松工業株式会社	会社の収益と社会貢献を両立するBCの実践

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

【防災部門】(注：奨励賞は事業継続部門の賞です)

	各賞受賞者	タイトル
令和元年東日本台風「災害対応特別賞」、奨励賞	社会福祉法人永寿荘・学校法人永嶋学院	『まさか!』からの『日本一の社会福祉法人』へ! ~台風19号の被災をばねに法人一丸でBCに取り組む
令和元年東日本台風「災害対応特別賞」、奨励賞	株式会社幸楽苑ホールディングス	台風19号を踏まえた事業継続
平成30年7月豪雨「災害対応特別賞」	有限会社トップ	小規模事業者の事業承継と水害被害からの事業継続
平成30年7月豪雨「災害対応特別賞」	真備船穂商工会青年部	平成30年7月豪雨(西日本豪雨)における被災事業所の復旧支援活動

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

【推薦部門】

	各賞 受賞者
普及貢献賞	「サプライチェーンのリスクマネジメントと組織能力」の著者：西岡正様、目代武史様、野村俊郎様

選考に当たり重視させていただいた点

【事業継続部門】

■ 優秀実践賞

タイトル	選考に当たり重視させていただいた点
Infinimum	<p>松江市で個人事業主としてWEB業務を行っている同社は、BCPが非常時だけのものではなく通常時の事業にもプラスになることに着目して取組みを進め、顕著な成果をあげている。自社業務のリスクの把握を進め、顧客にWEBの緊急時の想定されるリスクと毎月の復元作業等の自社の丁寧な対策を説明して、信頼性を高めることにより受託業務の単価アップに成功した。また、重要業務と優先顧客の選別、ボトルネック行程の洗い出し等により、業務効率アップと納期短縮に成功し、受注増にもつなげた。自社が被災した場合の外注や協力関係のある会社への代替も進め、BCの普及活動にも取り組んでいる。</p>
芸陽バス株式会社	<p>広島県の主要なバス会社であり、不動産管理も業とする同社は、平成30年7月豪雨（西日本豪雨）の被災経験も活かしたBCPの策定を進め、地震・津波を想定した訓練を実施して具体的な改善を進めた。例えば、西日本豪雨前には気象状況を踏まえた急な運行見合わせを決定のみであったところ、台風の接近などを踏まえたバスの計画運休の導入も行い、また、津波発生時の乗客対応、バスの移動先の高台についても定めた。最近では、新型コロナウイルス感染症蔓延時の路線維持計画も追加している。不動産管理関係では、西日本豪雨の教訓を不動産大家向けのセミナーを実施するなど、防災教育面でも貢献している。</p>
株式会社明電舎	<p>日本の電機、鉄道、水道等を支えるメーカーである同社は、大規模災害の頻発の中で危機感を深めた経営層の決定で、2018年から全事業部のBCP策定・BCM体制の構築に着手した。全役員・社員で推進する方針のもと、事業継続の視点で経営課題を抽出し、教育の実施により全社展開の理解と自主性の醸成などの意識改革を図った。必要な設備・備品の導入、全社及び地区の災害対策本部訓練、災害時情報共有システムの導入、主要協力会社へのBCP研修などを実施している。現時点では全部門・全社のBCPは完成前であるが、取組みを公表して参考に供することとするとともに、必ず完成させる意思を示したことは評価できる。</p>
森松工業株式会社	<p>飲料水用のステンレス製タンクを製造し、大型配水池の施工管理も行う同社は、災害時に重要な水の供給に携わる社会的責任を強く意識し、2016年にBCAOアワードを受賞した後も、生産拠点の分散、熟練溶接工を自社の職業能力開発校での育成、独自の生産技術の開発など、本業の拡大・強化と社会貢献の双方を意識した事業継続への取組みをさらに強化している。2018年西日本豪雨、2019年台風15号に際しても、被災地の多数の水道事業体へのタンクを緊急に提供するなどの貢献を行いつつ、社会的評価を受注に結びつける努力をするなど、その方針を貫いている。また、その取組みを積極的に公表していることは高く評価できる。</p>

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

【防災部門】

■ 令和元年東日本台風「災害対応特別賞」、奨励賞（注：奨励賞は事業継続部門の賞です）

タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
社会福祉法人永寿荘・学校法人永嶋学院	社会福祉施設を多数運営する同法人は、令和元年東日本台風により、河川に近い特別養護老人ホームの1階が完全に水没する被害を受けた。BCP講座を受講中の担当者が浸水の可能性の連絡を入れたこともあり、入居者20名は全員上階へ避難できたが、上下水道、電話、通信回線、電気設備が壊滅した。法人内の全事業所との携帯電話のグループチャットを立上げ、一階入居者の他施設への受入れ、2階以上の入居者への人的支援や物資も受入れなどを迅速に進めた。復旧と並行して、この経験を踏まえ、法人全体が一丸となってBCPへ本気で取り組むこととし、既にワークショップ研修でシミュレーション訓練なども実施している。
株式会社幸楽苑ホールディングス	ラーメンチェーンを全国的に展開している同社は、新潟中越地震や東日本大震災での被災店舗の早期再開への支援を経験してきたが、令和元年東日本台風では、東日本の店舗への食材生産・供給拠点である郡山工場が阿武隈川の氾濫により水没するという甚大な被害を受けた。そこで、代替供給のため小田原の工場の増産体制を早急に整え、1日当たりの各店の数量を限定し、品目も絞り込んで、1か月後に全店フル営業店舗を再開した。この経験を活かし、さらに昨今の経営環境の変化に対応するため、働き方改革への対応、思い切った不採算店の事業転換等、経営改革を含めた事業継続の取り組みを進めている。

（同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています）

■ 平成30年7月豪雨「災害対応特別賞」

タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
有限会社トップ	呉市で自動車部品を製造する同社は、事業承継問題に直面した直後、平成30年7月豪雨による浸水被害を受けた。経営者と従業員が連携した努力や取引先からの迅速な被災部品の供給などのおかげで3日目には事業再開でき、売上の減少は最小減に抑えられた。また、経産省等の早期復旧事例の視察をきっかけに、事業承継補助金、持続化補助金等の提案を受け、それらを活用して新事業分野の開拓を目指した新たな設備を導入し、併せて水害対策も進めた。平成31年にはこれらの経験を踏まえて、地元商工会の支援も受けて経営改革計画とともにBCPの策定を進め、中小企業庁の事業継続力強化計画の認定も取得した。
真備船穂商工会青年部	平成30年7月豪雨は、倉敷市真備町地区の商工業者の8割（499事業所）が被災する甚大な浸水被害をもたらした。災害発生直後より、県内外の商工会青年部員、各青年経済団体のメンバーらが被災事業所の復旧支援活動に取り組み、多くの復旧支援活動への参加者を集め、災害ゴミの「ゴミだし支援」、支援ニーズの把握の情報収集などを行い、早期事業再開に貢献した。また、本被災地区の真備船穂商工会青年部は、真備町地区を盛り上げるために、倉敷市とともに防災も含めた「まちづくり」の計画策定や取組みに積極的に参画し、地域に「にぎわい」を取り戻すため「復興阿咩祭～冬の花火～」を他の青年団体と共催で開催した。

（同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています）

【推薦部門】

■ 普及貢献賞

タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
「サプライチェーンのリスクマネジメントと組織能力」の著者：西岡正様、目代武史様、野村俊郎様	2016年熊本地震におけるアイシングループ、ホンダ熊本製作所の代替生産や復旧の取組み、トヨタグループの被災サプライヤー支援、半導体産業の東京エレクトロンやHOYAなどの対応について、実態調査をまとめた研究書である。BCPにおける製造業のサプライチェーン停止に対するリスクマネジメントの実態を知ることができる貴重な学術的な報告・分析である。製造業の事業継続の取組を公開・紹介したのものとして、BCの普及貢献の役割が大きいと評価される。

BCAO アワード選考委員会では、2019年10月26日から2020年1月31日の募集期間に応募（推薦部門は同期間に推薦）があったものについて、次の観点から厳正なる審査を行いました。

◆選考方法、基準等

○事業継続部門：趣旨に記載した表彰対象の内容について、

- ・ BCの普及に向け社会的に最も影響が大きい優れた取組と判断されたものを「大賞」
- ・ 優れた取組みで特に見るべき特徴のあるものを「特別賞」
- ・ 優秀なBCPの策定・BCMの実施で範となるものを「優秀実践賞」
- ・ BCのための人づくり、訓練の手法の紹介や実践事例で優れたものを「人づくり・訓練賞」
- ・ BCの普及に顕著に貢献した出版、活動などを「普及貢献賞」
- ・ 今後の取り組みに期待できるものを「奨励賞」

とします。BCに関わる成果を広く知らしめることを重視するため、公表履歴の多いものをより評価しますが、実践の場合にはこの限りではありません。

○防災部門：企業や企業を中心とする地域の防災への取組で

- ・ 特に見るべきものがあると評価されるものを「企業防災賞」
- ・ 災害等への優れた対応事例を「災害対応特別賞」
- ・ 被災地支援の取組として評価されるものを「被災地支援賞」

とします。

○推薦部門：阪神・淡路大震災以降の事例

- ・ BCの推進に顕著に寄与した事例（または人物）を「BC推進事例賞（または特別賞）」（自薦も可能）
- ・ 災害等への優れた対応事例を「災害対応特別賞」
- ・ BCの普及に顕著に貢献した出版などを「普及貢献賞」（推薦のみ）

とします。